

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立恵那南高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和4年5月24日（火） 13:30～16:00
- 3 開催場所 恵那南高等学校ガイダンスルーム
- 4 参加者

会長	桜井 正之	学識経験者
副会長	鈴木 隆一	NPO法人「いわむら一斎塾」理事長
委員	瀬瀬 千尋	明智振興事務所長
	根崎 育郎	恵那南高等学校同窓会長
	渡邊 直樹	恵那市立明智中学校教頭
	足立 伊公子	一般社団法人えな健幸生活支援隊事務局長
	堀 陽子	農事組合法人おんさい工房
	大嶋 順子	恵那南高等学校PTA代表
オブザーバー	水野 正敏	岐阜県議会議員
	岡田 庄二	恵那市教育長
	渡辺 康正	明知鉄道（株）代表取締役
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター
学校側	高橋 俊和	校長
	柴 成吉	教頭
	河村 拓士	教務主任
	深萱 しのぶ	生徒指導主事
	小島 公示	総合学科主任

5 会議の概要（令和4年度の学校運営方針について）

- (1) 教育課程の編成に関する事項について
- (2) 学校経営計画に関する事項について
- (3) 学校の組織編成に関する事項について

意見1：部活動の統廃合について、部活動の数はどのように決まっているのか。

⇒教員数によって決まっており、本校の場合は8～10の部活動が適当とされている。

意見2：生徒のワクチン接種率は把握しているのか。

⇒欠席事由として把握できることもあるが、個人情報に関わるので、正確には把握

していない。

学校運営方針について全委員より承認が得られた。

(令和4年度恵那南高校の取組について) 学校側説明

(本校の現状分析と本校の魅力をより高めるための方策について)

意見1: 授業を参観したが、教員が魅力的である。プロジェクターやホワイトボードも整備され、学習環境も良くなっており、少人数教育も効果を上げている。

意見2: 1月に実施された「産社総合学習発表会」をケーブルテレビで見たが、素晴らしい内容で感銘を受けた。年々内容が充実しているが、教員による指導の成果だと感じる。

意見3: 教員と生徒との関係が大変良い。中学生に普段の授業の様子を見せたい。

意見4: この地域では進学先の決定に保護者の影響が大きいと感じるが、保護者はひと昔前のイメージで学校をとらえている。保護者が学校を見学に来られる機会が増えると良い。

意見5: 少人数教育も大切であり、演劇ワークショップでのコミュニケーション力の向上も成果を上げているが、ディスカッションができるようになるとなお良い。

意見6: ICT環境の整備が進んでいるが、教員や生徒がついて行けるのかが心配だ。

⇒教員同士で学び合う雰囲気があり、うまく活用している。

生徒は慣れるのが早く、今のところ問題はない。

意見7: タブレット端末を公共の場所に置き、学校の情報が閲覧できるような工夫でPRができると良い。

意見8: ICTの時代となっても、紙のノートの活用は必要だと感じるが、本当にそうなのか。今後は必要なくなるかもしれない。時代の流れの中で、何を教え、どのような指導をしていくべきなのか見極めることが重要だ。

意見9: 通信制を選ぶ子供が増えているが、全日制で学ぶことの大切さを今一度発信していきたい。

意見10: 生徒が明知鉄道を応援するような取組ができると良い。

意見11: 高校生は大人とは違う視点をもっているので、高校生の発想力を大切にして発信していくと良い。

6 会議のまとめ

- ・第1回運営協議会では、全委員より今年度の学校運営方針について承認が得られた。
- ・会に先立ち授業参観を実施したが、授業内容、指導方法、生徒の様子等について、高い評価を得た。
- ・本校の今までの取組、今後の取組に対しては概ね良い評価が得られた。
- ・良い取組が中学生やその保護者に十分伝わっておらず、入学志願者数の増加につながっていない点が課題である。
- ・学校運営協議会等、外部の視点を取り入れ、対外的にPRする方法や本校の魅力を高める取組についてさらなる検討をしていく。